

ジオ講座

ジオから防災を考えよう

～2023年は8・6水害から30年、関東大震災から100年～

今年が 8・6 水害から30年目になります。1993 年は長雨が続き、8月6日、鹿児島市街地を流れる甲突川、稲荷川、新川は増水、甲突川の五大石橋のうち新上橋と武之橋が流出、稲荷川の実方太鼓橋も流出、周辺の12000戸が浸水被害を受ける事態となりました。日豊本線竜ヶ水駅付近では、沿線約 30 か所で土石流が発生し、鉄道や自動車の利用者が取り残されました。また河頭浄水場が冠水したため、断水も続くなどの影響もありました。

近年全国各地で毎年のように大雨による被害のニュースを目にします。この機会に地域の地形や地質を知ることによって災害に備えられること、とっさの時に判断できることを考えてみたいと思います。

また今年が関東大震災から100年という年でもありますので、今村明恒と鹿児島の関係についてご紹介したいと思います。



記

- 日 時：令和 5 年 7 月 16 日(日)午前 10 時～12 時
 - 開催場所：かごしま県民交流センター4階大研修室3 鹿児島市山下町14-50
 - 参加対象：興味がある方はどなたでも 80 名(達し次第締切)
 - テーマと講師：
 - ①講演「8・6水害を今後の災害に活かし備えるには」
大木公彦先生(鹿児島大学名誉教授)
 - ②講話「関東大震災を予想した今村明恒と鹿児島」
東川隆太郎(NPO 法人かごしま探検の会)
 - 聴講無料
 - 申込方法：前日までにお名前・連絡先を添えて
NPO法人かごしま探検の会 info@tankennokai.com に申し込む
下記 URL のフォームからも申し込めます。
- ※本催しは桜島・錦江湾ジオパーク推進活動支援事業の一環で実施します。



【連絡先】

NPO法人かごしま探検の会
電話 099-227-5343 FAX 099-295-3133
メール info@tankennokai.com